

杉戸東中だより

NO・10 平成23年1月10日(火)

学校教育目標

『 学び 磨き 未来を拓く 』

発行 発行者 校長古川 好宏

… 「変革の年、平成24年」 …

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平成23年中は、保護者の皆様方、並びに地域の皆様方には大変お世話になりました。お陰様を持ちまして、1・2学期と教育活動も順調に進みました。今まで取り組んだ教育活動から成果と課題を分析し、まとめの3学期にしてまいります。さて、平成24年4月から、学校が大きく変革する年になります。約60年ぶりに改正された教育基本法、関係法令、それらを踏まえて改訂された、学習指導要領が、完全実施となります。一言で言えば、教育内容と年間の授業時間が増加します。学校では、1週間28時間の授業時間から、1時間増やし29時間になる予定です。今まで、1週間の内2日間は5時間授業でしたが、4月からは1週間の期間中、5時間授業は1日しかありません。新しい内容が加わる教科もあります。その様な中で、学校独自で創意工夫を生かした「特色ある教育活動」を実践し、生徒一人ひとりに基礎的・基本的な知識や技能を確実に定着させ、これらを活用して課題を解決するための能力「生きる力」の育成に取り組みます。また、学校教育では、「不易」と「流行」は教育活動の両輪として例えられることが多くあります。「不易と流行」とは、

「不易」・時代を超えても変わらない価値のあるもの。

「流行」・時代の変化とともに変えていく必要のあるもの。この言葉は、俳人・松尾芭蕉が「不易と流行は一体なり」と言ったところに由来します。本校でも、長い歴史の中で培ってきた教育活動を検証しながら、「不易」なものは継承するとともに、時代の最先端を注視し、変革が求められることについては、積極的に取り入れ教育活動に生かしてまいります。

今年も、生徒の健全育成を軸に「生きる力」の定着を目指し、教職員一丸となり、教育活動に邁進する覚悟です。保護者の皆様方、並びに地域の皆様方に置かれましては、大所高所より御指導いただきますとともに、本校への御協力を重ねてお願い申し上げます。

江戸川堤防より筑波山を臨む



実技を披露した生徒



西武ライオンズ・宮地コーチ来校 埼玉県教育委員会主催で、毎年「夢と心をはぐくむ講演会事業」を開催しています。埼玉県全体の小・中・高校が、この事業へ応募するため、なかなか開催できませんでしたが、今年度念願がかない、12月5日(月)、この事業を開催することができました。講演と実技の指導を行って下さった先生は、西武ライオンズの宮地コーチでした。宮地コーチは講演や実技指導の中で、何回ともなく次の3つの言葉を繰り返していました。校長として、スポーツも勉強も共通するところがあると確信しました。

1 高い目標を掲げる

「この目標を達成するために日々努力する事」

2 強い信念を持つ

「自分の目標はぶれない」

3 基礎をしっかり身に付ける

「基礎体力を付ける。技能はその次」

宮地コーチは次のようなことも話していました。

「失って、初めて分かる大切さ」宮地コーチは、西武ライオンズ時代、なかなか1軍で活躍する機会がなかったこと。10年以上の2軍生活、チャンスは、2000年の先頭打者ランニングホームランから、02年、3番打者として100試合以上に出場し、パリーグの優勝に貢献できたこと。その後、西武ライオンズを自由契約選手となり野球ができなくなった時、「初めて野球の大切さが分かった」と言っていました。野球をもっと続けたい気持ち、できないことの辛さを話していました。その後、福岡ダイエーホークスに移籍し、初めての記者会見で、上記・1に繋がる高い目標を言ったそうです。「タイトルを取ります」その年、3割を超える打率でシーズンを終了し、ゴールデングラブ賞を受賞し、有言実行でタイトルを獲得したそうです。また、本校の生徒とともに実技の指導もしてくれました。2人で20回のキャッチボールの実技では、速さが求められました。ゲーム感覚でキャッチボールをしても、「相手チームに負けない気持ちが必要だ」と話してくれました。バッティングの練習でも、一人ひとりの個性を見極め指導してくれました。野球を経験している生徒にとっては、素晴らしい体験ができたと思います。生徒の皆さんも、夢を実現するためには、様々なことで挑戦してください。私自身、宮地コーチの話を聞きながら、中学校生活での学習や部活動の支援・指導に参考になりました。大変素晴らしい行事を実施することができました。



日々の鍛練の賜

掲載が大変遅くなり申し訳ありません。本校1年生、折原和樹さんは、柔道の地区予選会を勝ち上がり、去る、11月7日(月)、埼玉県立武道館で開催された、中学生柔道県大会に於いて、見事3位に入賞しました。本校には柔道部がありません。折原さんは、幸手の道場に通り日々稽古積んでいます。日々の努力した成果が結果として表れました。これからも、稽古に励み、今以上の成績が残せるよう頑張ってください。



保護者の協力

昨年度や今年度の1学期に引き続き、2学期も大勢の保護者の方に協力を得て、大掃除を実施することができました。特に、2学期の大掃除は、別の意味で1年間の総まとめの掃除ともなります。昔から「終わりよければ全てよし」と言う格言があります。1年間授業でお世話になった場所を、保護者の方々の協力を得て掃除し、新年を迎える。日本人の心の表れですね。3学期も、普段使用している学校施設を一生懸命掃除して下さい。



学習の成果

技術科の授業で、今年も菊の栽培を実施しました。苗木の鉢上げから始まり、毎日の水やり等を行い、秋に見事な大輪の花を咲かせることができました。植物を育てる授業をとおり多くのことを学んだと思います。



1月の行事予定

- 10日(火) 始業式・避難訓練
- 11日(水) 給食開始
- 13日(金)～15日(日)
1年生スキー教室
- 16日(月)・17日(火)
1年生振替休業日
- 17日(火) 学年朝会
- 18日(水) 専門委員会
- 20日(金) 中央委員会
- 21日(土) 英語検定
- 23日(月) 3つの達成目標検証
- 24日(火) 表彰朝会
- 31日(火) 理科基礎学テスト
- ※13日(金)～19日(木)
3年生三者面談
- ※30日(月)～2月3日(金)
学校公開週間

生徒の活躍 (順不同)

○ 身体障害者福祉のための第53回埼玉県児童生徒美術展

- 入選 3年生 石川 苑美 さん 入選 3年生 木村 夏緒 さん
- 入選 3年生 飯塚 沙菜 さん 入選 3年生 高須賀 教子 さん

○ 平成23年度埼玉県児童生徒発明創意工夫展

- 優良賞 2年生 根本 沙紀 さん 優良賞 1年生 中尾 咲 さん

○ 杉戸町発明創意工夫展

- 優良賞 1年生 山口 真奈 さん 優良賞 1年生 松本 優帆 さん
- 優良賞 2年生 新井 伶奈 さん 優良賞 2年生 内堀 雄輝 君
- 優良賞 2年生 成塚 咲奈 さん

○ 税についての作文

- 優秀賞 1年生 齊藤 美紀 さん 優秀賞 1年生 山中 ひなた さん

○ 杉戸町人権作文

- 優秀賞 1年生 齊藤 美紀 さん 優秀賞 2年生 倉持 有希 さん
- 優秀賞 3年生 石川 美保香 さん 優秀賞 3年生 木村 夏緒 さん
- 優良賞 1年生 岩浪 舞雅 君 優良賞 2年生 齊藤 裕理 さん

本校では、毎月1回表彰朝会を実施しています。特に、基礎学力テストは大勢の生徒が、満点賞や80点以上の努力賞を受賞しています。その他にも、漢字検定や英語検定の各級に合格した生徒の表彰も実施し、12月に本校の新しい試みとして、数学検定も実施しましたので、1月に表彰されます。生徒の皆さんの努力の結果が、形として表れています。これからも日々の努力を忘れず勉強に運動に、そして、様々な分野に挑戦して下さい。

生徒の自主性の表れ

本校では、ボランティア活動を積極的に奨励しています。今学期最後となる、挨拶運動や落ち葉掃除を12月から実施しました。大勢の参加者が集まり、多いときには全校生徒の半数近くが参加した日もあります。挨拶運動では、今まで校門前を中心に生徒が立って実施していましたが、今回は、学校敷地の外にまで行き、挨拶運動を展開しました。12月に入り、寒い朝もたびたびありましたが、大勢の生徒の参加に大変嬉しく思います。ボランティアをとおり、何かを学んで下さい。

学校近くの交差点



薬物乱用防止教室

毎年、薬物乱用防止教室を実施しています。今年は、12月7日(水)、羽生総合病院・医療安全管理室(薬局長)の、小野幸夫先生をお招きして、講演会を実施しました。先生は話の中で、次の3点を協調しました。

- 1 1回くらいなら
「1回でも絶対ダメ」
- 2 断る勇気を持つ
「友達等からの誘いもダメ」
- 3 脳が冒される
「脳が破壊される、脳は再生しない」